

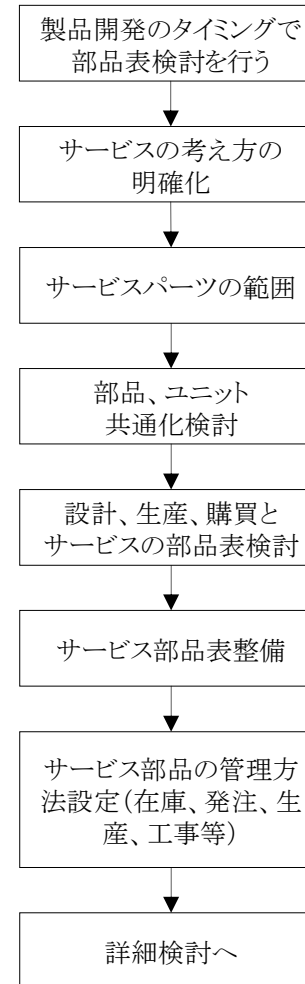
11.2 サービス部品表改善

サービス業務は、現地での検査、部品交換、又は工場へ持ち帰っての作業等色々な形態があります。サービス部品の検討、交換単位の検討等を設計段階からサービス部門と一緒に検討することで部品の共通性、作業の共通性が図れ、効率が上がります。したがって商品の開発段階で設計の部品表、生産・購買の部品表等の作成の段階で、サービスの部品表を合同で作ることが望ましいでしょう。

その際には、今までの機種との共通性、現地作業等の範囲ややり方、故障の解析等を行い、後々のサービスの仕方考えた部品表整備を行うのが良いでしょう。

電子部品等は、自社商品より短い寿命のものが多いため、新製品開発時には、できるだけ開発時期の若い新鮮な部品を活用することも大事であり、それがサービス部品の管理にも直結することになります。

展開ステップ



サービス改善における追求観点

